

関東フットベースボール連盟大会

★第17回大会を振り返り

関東フットベースボール連盟
会長 淡路 洋



開催会場を各市持ち回り方式で行い市川市での大会は今回で5回目となりました。会場はお馴染みの陸上競技場で観客席もあり試合全体が見渡せ素晴らしい環境のもとで行われました。他市のごも達と関係者の皆さまにも良い思い出の大会になったことと思います。

り改めて
こども達の素晴らしさに感動いたしました、スポーツはいいですね、こども達ありがとう。
今後もこども達の健全育成に少しでも寄与できますようこの大会を続けて行けますようお願い申し上げます。
市川市のフット関係者の皆さまご苦勞様でした。ありがとうございました。



優勝 ペプシ ダイヤモンズ（昭島市）



□死闘の果てに 緒方雄輔監督

8年前に娘が優勝したこの場所で、監督として再び優勝させてもらえるとは、最高の喜びでした。子供達に大感謝です。コーチ陣、保護者の方々、ご協力ありがとうございました。予選1試合目から逆転サヨナラ負けという崖っ淵から這い上がり、はらはらどきどきの緒方劇場（笑）の始まり。2連覇目指すディファレンスとの死闘。決勝は予選で負けた川原田とのリベンジ戦。絶対に諦めない、仲間を信じるというチームワークが勝利に導いてくれたと思います。ダイヤモンズ、万歳！

★目標達成 キャプテン 片倉 杏

私たちは、この一年間「関東優勝」を目標にしてチーム一丸となって日々練習してきました。私は四年生の時に出場しましたが、残念ながら予選で敗退してしまいました。その時の悔しい思いもあり今回の大会は「絶対に優勝する」という気持ちで臨みました。そして優勝することができました。私達が優勝できたのは、監督、コーチ、応援してくださったの方々のおかげだと思っています。卒業までの残り少ない練習や大会を頑張ります。

準優勝 川原田フットベース（栃木市）



□関東大会を終えて 山田博信監督

二年前、六年生がいない状態で今のチームが始まり「体の周りのボールは取ろうー」が私の口癖でした。それが関東大会に出場し、決勝戦までいってくれました。惜しくも敗れてしまい目標の優勝には届きませんでした。子供たちの頑張りには拍手です。準優勝、この素晴らしい成績を残せたのは、子供たち、役員、保護者、OBの皆様がチーム一丸になり目標に向かった結果だと思います。本当に有難う御座います。最後に今大会開催に向けて準備して下さった皆様に御礼と感謝を申し上げます。

★最後の関東大会 キャプテン 三上 優空

関東大会を目標に暑い日も寒い日も、足の痛みを我慢して練習に励んできました。全勝で決勝リーグに進みましたが決勝戦では、相手のペースになり負けてしまいました。決勝戦が始まる前に、同じ栃木市のチームやOBのみんなと大きな円陣を組み、心が一つになりました。小差で負けてしまい悔しさは残りますが、最高の思い出です。忙しいのに熱心に、指導してくれた山田監督、谷中田部長そして、いつもそばで見守ってくれた副部長のお母さん感謝しています。本当にありがとうございました。

3位 ディファレンス（昭島市）



□関東大会の思い出 徳竹 当志監督

今年のチームは監督として3年生から指導してきたチームで、この代で東京ジュニアカップで優勝してから関東大会優勝を目標にずっと選手達と取り組んできました。惜しくも準決勝で負けて3位になってしまいました。みんなで流した汗と涙は一生の思い出です。このチームで関東大会に参加でき私も選手も支えてくれた全ての方々に感謝しています。

★関東大会を終えて キャプテン 高橋 花空

私達は関東大会2連覇を目指して日々練習を積み重ねてきました。関東大会に出れないチームの人の気持ちも胸に一戦一戦全力でプレーしました。惜しくも準決勝で負けてしまい3位でしたが、この悔しい気持ちを胸に、残りの大会で悔いがないように笑顔を忘れずに頑張ります。

蕨フレンズ（蕨市）



□悲願の予選突破!! 森 一彦監督

過去16回グループリーグ敗退、蕨市のチームが関東大会で予選を突破したことは一度もなく、その壁を打ち破るため、4月に「関東大会上位入賞」という目標を子ども達と決めました。各市のチームにもお力をお借りし、多くの練習試合も行う事ができ、感謝しております。そして何より、私の指導を信じて練習に励み、見事に4位入賞という目標を達成した子ども達、私の誇りの娘たちです!!また一つ上を目指し日々精進致します。今大会の運営にご尽力くださいました皆様に御礼申し上げます。

★蕨の力 キャプテン 荒城 彩良

私達蕨フレンズは、蕨市初の予選リーグを通過し、ベスト4という結果を残しました。予選リーグでは、チーム一丸となって粘り強い守備をすることができ、2勝1敗で2位通過することができました。みんな喜びました。決勝トーナメントは気持ちを切り変えて挑みました。そして、この試合でもしっかりと守備で攻撃を抑えることができ、1点差で勝ちました。残りの2試合は点を取ることができず負けてしまいました。関東大会にみんなと一緒にすることができて、良い経験になりました。

栄ヴェルディーズ（羽村市）



★関東大会を終えて キャプテン 折原 菜々実

私は決勝トーナメントに進めなくて悔しかったです。キャッチミスや蹴りミスもあったので、次の大会までに修正してベスト4に入れるようにしたいです。でも、チームではいつも声を出していたし、ホームランも打たれなかったのが良かったと思います。次の大会でも出来るようにしたいです。もう少しで最後の大会になるので、みんなでしっかり練習して、良い成績を残したいと思います。

国府北（栃木市）



□感謝 菅原 誠監督

監督として初めての関東大会、新人の時から関東大会を目標に厳しい練習をしてきました。結果はベスト8と悔しい結果となり、子供達も悔し涙で顔を歪めていましたが、この経験がこの先活かしてもらえたら監督として感無量です。最後に、コーチの皆様、父母の皆様、OBOGの皆様にご感謝です。国府北フットを支えてくださり本当にありがとうございました。大会関係者の皆様、市川の皆様ありがとうございました。

★必笑、国府北チーム キャプテン 中尾 春輝

私達は、関東大会優勝を目指して今まで練習して来ました。きびしい練習や、苦しい練習をみんなと一緒にがんばってきました。その成果は、じゅうぶんはつきできたと思います。みんな笑顔で、のびのびやっていました。いつもの国府北チームが関東大会で見れて私はうれしかったです。結果は、ベスト8でしたが、これを出せたのは今まで指導して下さった、かんとく、コーチ、そしてずっと見守って下さった保護者の皆様のおかげです。そのことを私たちは忘れずこれからも頑張っていきます。

ひまわりホームーズ（市川市）



□ 田畑 亜由美監督代行

今年は、地元開催ということもあり、子ども達と楽しみに臨んだ関東大会でした！結果は、予選敗退、6年生は、緊張して力がだせないまま終わってしまいました。6年生は、悔しさをバネに今後も前をみて進んでほしいと思います。コーチとしては、緊張して力がだせない。と、ならないよう楽しく試合に臨んで結果が出せるよう、チームを強くし、来年の関東大会を目指します。私事ですが、第1回大会にキャプテンとして出場し、その時のことを思い浮かべながら今回は子ども達と楽しい時間を過ごしました。今は、フットベースボール体験し良かったと痛感しております。

★〈最後の関東大会〉 キャプテン 加賀 咲帆

私達ひまわりホームーズは、「関東大会優勝」の目標を叶えるために、日々の練習をがんばり、1試合 1試合を大切にしてきました。今年は市川市開催で会場に慣れていたにも関わらず、すごく緊張してしまい、予選突破できず、すごく悔いの残る大会になってしまいました。この大会に向け一緒にがんばってくださいました、監督・コーチ・お父さん・お母さんありがとうございました。残り少ない大会ですが1つ1つ大切にプレーしていきたいです。フットベースボールに感謝!!ありがとうございました“感謝”

原木キッカーズ (市川市)



□感謝 大森 基晴監督

監督として初めての関東大会でしたが、チーム関係者は勿論のこと大会／連盟関係者／他のチームの方々にも絶大な支援を頂き本当に感謝しています。私の力不足で子供達の目標を叶える事が出来ませんでした。しかし、自分達で目標を決め、自主練習に励み、やり切った子供達は今後もこの関東大会を思い出し飛躍する日が必ず来ると確信しています。また、ここまで監督として私を成長させてくれた子供達、そして関東大会まで連れてきてくれた子供達に心から感謝しています。ありがとう。

★関東大会を終えて キャプテン 中村 明花

2年前のキャプテンが私達の学年が6年生の時に関東大会に出れると言っていたので今年の関東大会に出れてとってもうれしかったです。チームの目標が「表彰」だったけどこの大会で一歩も近づけられなかったのが悔しかったです。でも、今までこのチームで二年間、がんばってきたのでみんなでこの大会に出れて良かったなと思いました。また、今度関東大会に出れるチャンスがあったらベスト四や決勝トーナメントにでれるように頑張ってください。

東小ペガサス (羽村市)



□関東大会 千原 佑樹監督

2年振りに羽村市代表として関東大会へ出場しましたが、期待に応えられず厳しい結果に終わってしまいました。それでも、厳しい夏の練習をチーム全員の力で乗り越え、またこの大きな舞台に立たせてもらったことに感謝します。キャプテンをはじめ、みんな、ありがとう。力を出し切れずに終わった選手もいましたが、私以外のベンチスタッフ、選手は全員初出場。保護者も含めて、関東のレベルを肌身に実感できたと思います。レギュラーも5年生、4年生の子供が多かったので、きっと、この悔しさを来年以降につなげてくれると信じています。大会関係者のみなさま、ありがとうございました。ペプシさん、優勝おめでとうございます。

★関東大会に出て キャプテン 石河 紗良

関東大会では心を一つに頑張りましたが、予選リーグで敗退となりました。あらためて他のチームとの力の差をかんじました。でも、学ぶことも多かったです。私は大会前に足を痛めたので、全力で蹴る、走ることができませんでした。自分の体を管理することができず、キャプテンとして申し訳ないと思いました。このメンバーで出られる大会も残りわずかです。みんなで前を向き、1試合1プレーを大事に、何より楽しく練習をしていきたいです。

T-Fighters (秩父市)



□関東大会を終えて 富田 和良監督

今回の関東大会、子供達を優勝させてあげたい思いで練習に励んできました。結果はベスト8でしたが、関東大会という大きな舞台で子供達は本当に最後まで頑張ってくれました。フットを通じて色々な経験や思い出と一緒に作れたことを、子供達には感謝してます。本当にありがとう！来年もこの舞台に来れるように子供達と頑張ります。最後に、今回の大会関係者の皆様に感謝もうしあげます。

★関東大会 キャプテン 齋藤 未結

私たち、T-Fightersは去年も関東大会に出場しました。去年は悔いの残る結果となり、その悔しさを胸に関東大会に向けて練習を重ねてきました。チームのみんなの頑張りや、監督、コーチ、保護者の方のおかげで、関東大会に出場することができました。今年も優勝はできなかったけど、全試合、チームのみんなで全力でプレーできてよかったです。本当にありがとうございました。

北国分スカーレット (市川市)



★「進め、スカーレット!!」 キャプテン 荻原 志帆

北国分スカーレットは初めて関東大会に出場しました。チーム結成してから初関東だったのでプレッシャーも大きかったです。これまでのきつくて、大変だった練習を信じ「絶対勝つぞ!!」そんな思いで試合に挑みました。その結果、ベスト8に入りましたが、もっと勝ち進みたかったです。私は悔しかったです。チームのみんなも悔しかったと思います。来年のスカーレットには、私達より良い成績を残せるようがんばってほしいです。「進め、スカーレット!!!」

富士見BEAGLES (羽村市)



□念願の関東大会 北原 義孝監督

今回が、チームを結成して初めての関東大会出場でした。不慣れな中、所属の協会や他チームのサポートを受け、無事、当日を向かえることができましたが、残念ながら一勝もできず、悔しい思いをしました。ただ、子どもたちは、大舞台上で緊張の中、プレイや応援に精一杯頑張ってくれましたので、各人の中で良い経験として次に繋がると思います。チームとしてはこの悔しさを糧に、連続出場と念願の一勝、さらには予選突破を目指します。最後に、大会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

★関東大会 キャプテン 池田 唯

私達は、今年が初めての関東大会でした。当日は、いつもと慣れないところでチームがまとまらず、思うようなプレーがあまりできませんでした。とても悔しかったです。でも、この関東大会に出場できたのも、大切な仲間や、ご指導して頂いた監督、コーチ、支えてくれた保護者のお陰です。六年生は関東大会はもうないけれど、残りの限られた練習、大会を悔いなくおられるよう、頑張っていきたいです。

リトルモンスターズ (秩父市)



□ありがとう！関東大会!! 高橋 徹監督

今年で7年連続で関東大会に出場をさせて頂き、子供たち、指導者、保護者、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。今年はメンバーが10人、うち六年生3人（秩父市影森、旭町&大沼町）で頑張ってきました。2日間で行われた秩父での予選第1日目は苦戦し一時は関東大会出場が危ぶまれた中、最後まで諦めない子供たちの頑張りで関東大会に出場できました。大会は一点差が2試合と惜敗でしたが、一生懸命に練習した日々、大会本番での緊張感、負けた悔しさ、昭島、羽村、市川、蕨、栃木の素晴らしいチームメンバーとの交流など、多くのかげがえのない

貴重な経験ができ、今後の子供たちに必ずや生きてくると信じています。フットベースボールに乾杯！ありがとう！

★関東大会 キャプテン 宮下 陽菜

今年の関東大会は、7年連続出場できて、とても嬉しかったけど、試合では、1試合も勝つ事ができませんでした。とても悔しい思いでいっぱいです。いつも指導してくれた監督、コーチ、熱い声援をしてくれた保護者の皆さんには申し訳ないと思います。6年生としては、残りわずかだけど、この悔しい思いを全力で、残りの試合までに、たくさん練習を頑張っていきたいです。

マキバオー(昭島市)



□新たなスタートへ 前川 剛寛監督

私は監督としては六年ぶり三回目の関東大会出場でした。勿論六年生にとっては最初で最後の関東大会なので、できる限りの準備をした上で大会に臨んだつもりでしたが、やはりトップチームの高レベルなプレーを目の前にして、自らの指導力不足を痛感しました。せめて来年主力となる五年生には良い経験をさせることができたかと前向きにとらえ、子どもたちと共に来年に向けて新たなスタートを切りたいと思います。最後に大会の準備にご尽力いただきました皆様にこの場を借りて感謝を申し上げます。

★関東大会出場 キャプテン 秦 未遥

私達は、関東大会を目標にこの一年間頑張ってきました。初めは、声もなかなか出せず、チームプレーも上手に出来なくて厳しいことを沢山言われている子もいました。だけど、それを乗り越えてきたチームのメンバーや、勝てるように指導して下さった監督、コーチ、そして陰で支えて下さった保護者の皆さんのお陰で出場することが出来ました。結果は予選敗退でしたが、この経験を大切にして、残り少ない大会も精一杯頑張っていきます。

箱西 (栃木市)



□箱西らしい関東大 鈴木 明監督

今季は僅か6名でスタートながらも、奇跡的に憧れの関東大会出場を4年振りに決める事が出来ました。ですが、大会一週間前に6年生が全治2ヶ月の骨折、当日は、6年生家族が大幅に遅刻、別の6年生は背番号を忘れ、テープを貼り付けての出場など、最後の最後まで箱西らしいドタバタな一日でしたが、本当に楽しい大会でした。これからも、皆が夢見て憧れる関東大会であって欲しいと、心から願います。最後に、今大会の開催にあたり、ご苦労頂きました関係者の皆様に感謝申し上げます。

★仲間と共に過ごした一年間 キャプテン 鈴木 穂花

私は6年生でキャプテンになり、辛い事も沢山ありました。けれど、キャプテンが暗くなるとチームが暗くなってしまうので、出来るだけ声を出し、仲間と共に一年間、関東大会を目指して練習を頑張ってきました。今年の最初は人数も少なく、その時は関東大会出場は無理だと思っていましたが、夢のまた夢の関東大会に出場出来た本当に良かったです。関東大会に出場出来たのも、監督やコーチの指導のおかげです。今まで支えてくれた方々、そしてチームメイトにも感謝です。

田尻エンジェルス (市川市)

□関東大会 市川 義昭監督

監督となり5年連続関東大会に出場した中、初めての予選敗退。この悔しさを忘れず、来年はリベンジします!!最後に、今大会を開催して頂いた大会関係者の皆様に感謝申し上げます。

★4回目の関東大会 キャプテン 石塚結衣

自分は4回目の関東大会だったけれど、最後の関東大会ということもあり、とても緊張しました。色々辛いこともあったけれど、みんなで乗り越え、チームのみんなで一生懸命頑張ってきた。大会当日、みんなの緊張をほぐせるように、笑顔を忘れず頑張りました。でも、キャプテンの自分がみんなを支えてあげられなかったり、フォローしてあげられなかったり、予選敗退という結果にとっても後悔しています。ここまで支えてくれた、監督、コーチ、保護者の方々、たくさんの応援、ありがとうございました。来年は、自分たちの分まで頑張りたいです。

最優秀選手



優秀選手



ホームラン賞選手

